

定年後に子育て支援

地域の子育て支援に、シニア男性が参加する事例が増えているそうです。育児経験のある女性の方が適しているようにも思いますが、長い仕事人生で培った能力を総動員して育児を支援することは、子どもたちにもシニアにもよい影響があるのではないのでしょうか。

「グランドシッター」。シニア世代を対象にした子育て支援の民間資格です。

この資格を取って、保育士をサポートします。

男性が仕事を通して得た、知識、経験、ノウハウを子育てに生かすことが、ミソです。

シニア男性が子どもたちの話をじっくり聞く、保育士の相談相手になる、これらのことを通して保育の質が上がるのだと思います。

高度成長期、バブルを経験した日本経済。かつての父親は、家庭よりも仕事にやりがいを見出して来ました。家事や育児は母親任せ。そのことへの後悔が、ひょっとしたら背景にあるのかもしれませんが。あるいは、育児の楽しさに目覚めたのかも。



以前には、定年後の男性を「粗大ごみ」と揶揄することもありました。自身は仕事で燃え尽きてしまい、何ごともやる気がない。そのような状態を周りも邪魔に感じる。シニア男性よ！家に閉じこもってはいけません。地域へ出るのです。

祖父、祖母と同居することが少なくなった現在、お年寄りと身近に接する機会を子どもたちはなかなか持てません。親とは世代の異なる大人との交流は、子供たちのためになります。また、子どもたちとの交流は、シニアにも刺激を与えてくれるはずです。何と言っても、必要とされる場があるということは、素晴らしいことです。どんどん、この動きが高まればよいと思います。